

令和3年度自主防災大会

令和3年度の自主防災大会は、京都府において「まん延防止等重点措置」が実施される中、感染防止対策を十分に行ったうえで開催致しました。

当初は一般の方も参加できるスタンプラリー形式で、感染症対応した避難所の見学、防災備品（簡易トイレ、照明器具、発電機等々）の展示、消火器操作による消火体験をして、昼食は恒例の炊き出しカレーで食事し午後は「地区防災タイムライン」の講演と企画していましたが、感染拡大に伴い見直した結果、防災委員、福祉委員、民生委員の方々を対象に「過去の災害と新しい避難行動」をテーマに二つの講演を実施しました。

コロナ禍に加え酷暑にも関わらず多数（聴講者58名）参加していただき、防災意識と家族や自分自身の身を守るための行動について、再認識していただけたのではと思います。

また、市・危機管理課から提供して頂いた災害備蓄用食料品を、各家庭で試食して頂くためにお持ち帰りいただきました。

【自主防災大会】 木津町区自主防災会、社協木津町区支部共催

日時：8月8日(日) 午前9時～12時

場所：中央交流会館・多目的ホール

講演：

1. 「木津川氾濫による水害歴史と避難行動」

講師 国交省・淀川河川事務所 佐藤 昭史専門官

2. 「水害等避難行動タイムライン(地区タイムライン)について」

講師 木津川市・危機管理課 松田 篤彦主任専門員

